

中国法定感染症発病概況 2017年8月

The Japan Research Institute (Shanghai) Solution Co., Ltd.
リサーチ・コンサルティング部門

■発病総数は前月比-15.2%だが、総数は過去同月と同程度

当月発病総数は679,832例であり、前月比-15.2%と減少。過去同月比で比較すると、過去平均（過去3年の同月および前後月の9カ月平均）比は+6.3%であり、過去平均標準偏差(SD)は、+0.5であり、発病総数自体は例年と同程度である。（図表1、図表2、図表3、図表4）

■乙類は例年よりやや多く、丙類は過去同月と同程度

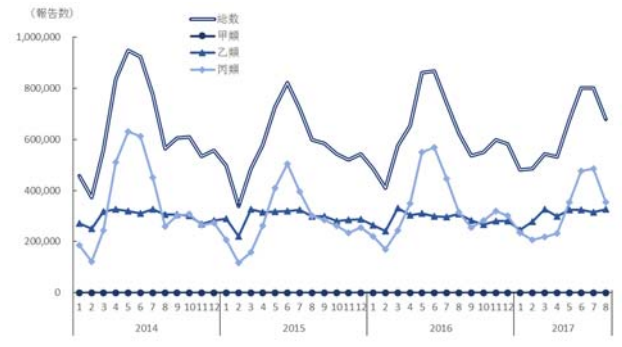
類型（甲乙丙）別*1にみると、甲類では前月はコレラが3例あったが、当月は6例報告されている。

乙類は326,086例あり、前月比+3.3%。過去平均比+6.9%で、過去平均SD+1.6であり、例年よりやや多い。

丙類は353,740例あり、前月比-27.2%。過去平均比は+5.8%で、過去平均SD+0.3と前月から減少したが、例年と同程度であった。（図表1、図表2、図表3、図表4）

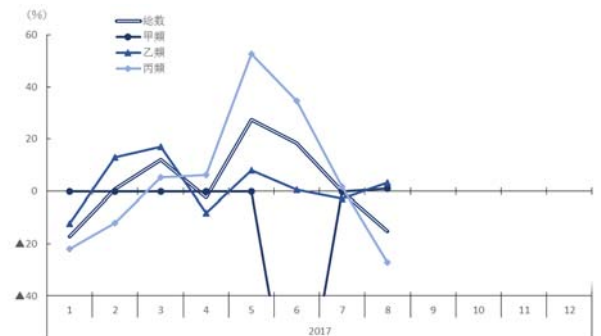
*1) 中国では、病気の39の感染症を甲類2（ペスト、コレラ）、乙類26、丙類11に分類。2013年11月1日に、乙類であった新型インフルエンザ:A(H1N1)pdm09を丙類のインフルエンザに集約し、乙類に鳥インフルエンザA(H7N9)を追加。2016年1月からは、ウイルス性肝炎の内訳にD型肝炎を追記。（本資料のウイルス性肝炎は、A型、B型、C型、D型、E型、および、その他肝炎の合算。）

図表1 発病数



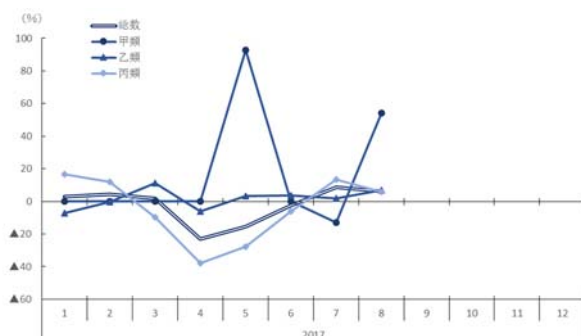
(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病発病概況」を基に日本総研作成

図表2 発病数（前月比）



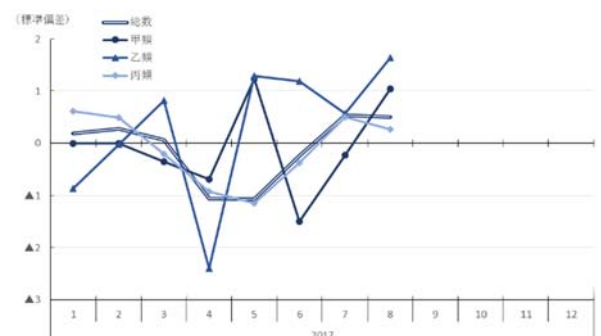
(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病発病概況」を基に日本総研作成

図表3 発病数（過去平均比）



(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病発病概況」を基に日本総研作成
(注) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9カ月平均

図表4 発病数（過去平均標準偏差）

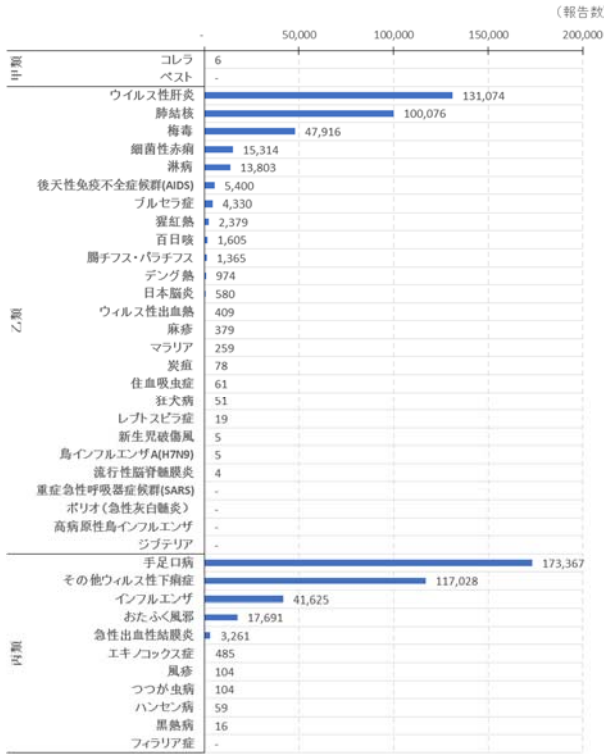


(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病発病概況」を基に日本総研作成
(注) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9カ月平均

■発病数最多は手足口病だが例年同様

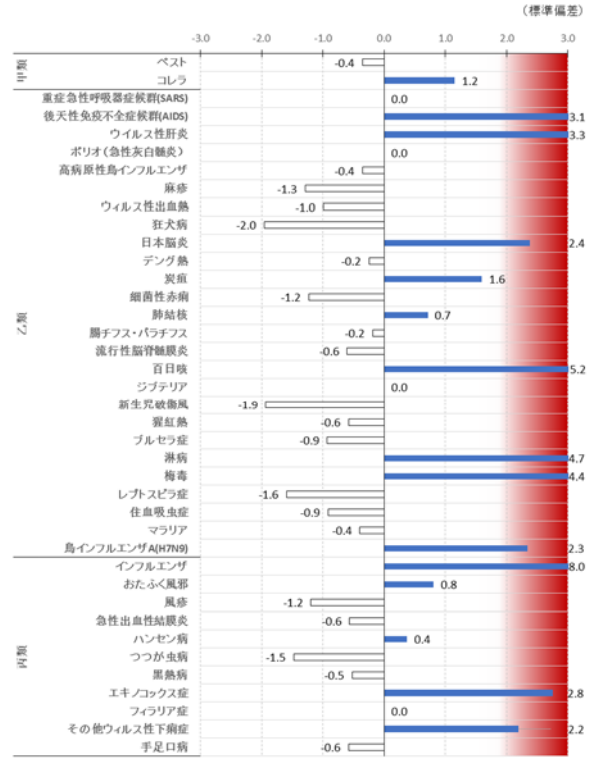
感染症別では、手足口病が173,367例と最も多いが、過去平均SDは-0.6であり例年と同程度の発生病数である。(図表5、図表6)

図表5 発病数
〈 当月発病数順 (降順) 〉



(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病発病概況」を基に日本総研作成

図表6 発病数 (過去平均標準偏差)
〈 法定感染症統計記載順 〉



(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病発病概況」を基に日本総研作成
(注) 過去平均は過去3年の同月および前月の9ヵ月平均

■10の感染症が例年に比べ非常に多く発生

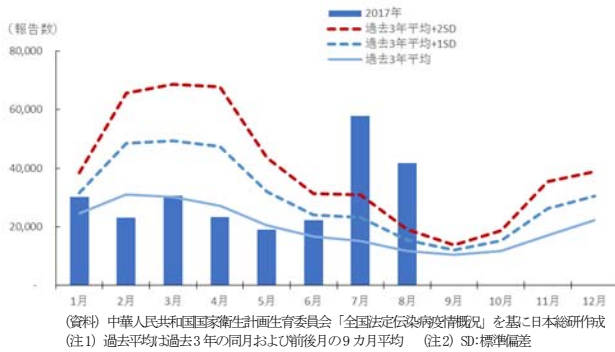
当月例年より以下の10の感染症が非常に多く発生(過去平均SDが+2.0以上)した。一方、5月~7月まで例年より非常に多く発生していたおたふく風邪は、当月は過去平均SD+0.8となり例年と同程度となった。(図表6)

- 1) インフルエンザ
- 2) 百日咳
- 3) 淋病
- 4) 梅毒
- 5) ウィルス性肝炎
- 6) 後天性免疫不全症候群(AIDS)
- 7) エキノコックス症
- 8) 日本脳炎
- 9) 鳥インフルエンザ A (H7N9)
- 10) その他ウィルス性下痢症

■インフルエンザは前月に続いて、百日咳は4カ月連続して例年より非常に多い

インフルエンザは、41,625例（前月比-16,069例）と前月の-27.9%。しかし、過去平均SDは+8.0であり、2カ月連続して例年に比べ非常に多い。百日咳は1,605例発生し過去平均SDは+5.2であり例年より非常に多い状況が今年の5月から続いている。（図表7、図表8）

図表7 発病数（インフルエンザ）



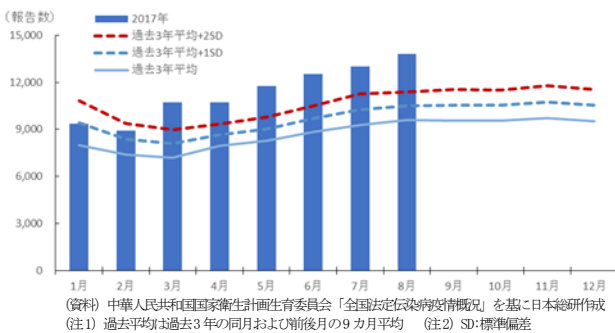
図表8 発病数（百日咳）



■淋病は6カ月連続、梅毒も4カ月連続して例年より非常に多い

淋病は13,803例発生し過去平均SDは+4.7と3月から6カ月続いて例年より非常に多く発生している。梅毒は47,916例発生し過去平均SDは+4.4と例年より非常に多く発生しており、5月から4カ月間連続している。（図表9、図表10）

図表9 発病数（淋病）



図表10 発病数（梅毒）



本資料は情報提供を目的に作成されたものであり、取引の誘引を意図したものではない。また、2017年9月18日時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものであるが、内容に誤りがないことを保証するものではなく、情報の正確性・完全性・網羅性・商用性については、一切の保証をするものではない。